

# 中央ろうきん 友の会ニュース

# 2014年度東日本大震災義援金贈呈式 宮城県気仙沼市、南三陸町被災地視察研修 報告

【編 集】中央ろうきん友の会事務局  
【発行人】鈴木政雄  
【発 行】2015年6月23日 No.3

2014年度友の会の善意は  
宮城県気仙沼市、南三陸町の被災者に届けられました！

「息の長い支援活動が必要であると改めて実感した贈呈式」  
2015年5月18日（月）、中央ろうきん友の会視察団15名は、くりこま高原駅から一路気仙沼市の贈呈式会場である気仙沼市本吉町の大谷中学校仮設住宅集会所（大谷中学校仮設は150世帯が暮らす気仙沼市最大の仮設住宅）に向かいました。集会場では三親睦会の役員の方々やまちづくり協議会の役員の方々、シャンティ国際ボランティア会【震災以降気仙沼で支援を行っている国内有数の国際協力NGO】、

その後、贈呈先を代表し、大谷仮設住宅親睦会大内守雄会長より、「思いのこもった義援金をいただきありがとうございます。来年の春からは、高台移転や災害公営住宅への入居が始まります。市は仮設の集約化を進めることにしているが、それまでは仮設の住民に元気がでるよう色々なイベントに義援金を使いたい」と謝辞が述べられました。

気仙沼での贈呈式を通じて、友の会としても息の長い活動で、被災者の方々を支えていくことの必要性を改めて実感す



計会長へ目録贈呈



## 氣仙沼地区の贈呈先の皆さんとの集合写真



挨拶する鈴木会長

2014年度も多くの義援金を集約することができました。

中央ろうきん友の会は、東日本大震災被災者支援活動として、2011年度より、義援金の取り組みを実施してまいりました。2014年度は、支部、地区本部から1,210,216円にものぼる義援金を集約することができました。あらためて関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。

未曾有の震災から4年が経過しましたが、いまだ復興が進まず、困難な生活を強いられている被災者の方が多くおいでになります。友の会では息の長い活動で、被災者を支えていくことを確認しておりますので、会員の皆さんには引き続き義援金の第四次募集へのご協力をお願いいたします。



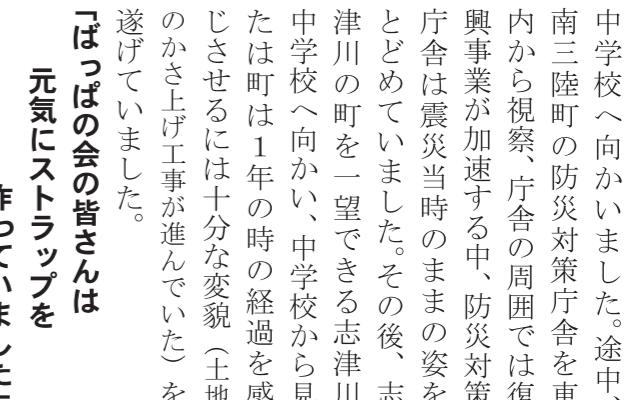
## 津川中学校から



## ざっぱの会の作業風景



一徳寺橘 ご住職と



作業日。会の皆さんは、視察団の訪問を受け、作業の手をしばり休め交流会が実現しました。会の代表である涌澤さんは、「2013年から中央ろうきん友の会の皆さんがストラップの販売に協力をいただき、本当に感謝しております」と挨拶がありました。

午前中最後の視察地は、東京災害ボランティアネットワークが現在もボランティアの拠点としてお世話になつている横山不動尊（大徳寺）。日本三大不動の一つと伝えられ、八百年



ざつぱの会の皆さんと

臨時総会で「喜寿祝金制度規則」制定などを承認！！

中央ろうきん友の会本部臨時総会は2015年6月23日、中央労働金庫本店会議室において開催され、議案は代表役員全員の賛成(書面表決)で承認されました。今回の臨時総会は第6回総会(2014年10月3日開催)で承認された「慶弔見舞金制度」の見直しに伴う、関係規則の改廃や「中央ろうきん友の会会則」の一部改正をおこなうため開催されたものです。承認された議案は以下の通りです。

- 第1号議案 1. 現行「慶弔見舞金制度規則」は 2015 年 6 月 30 日を以って廃止します。  
2. 新たに「喜寿祝金制度規則」を制定し、2015 年 7 月 1 日より施行します。

第2号議案 「中央ろうきん友の会会則」一部改正の件  
第1号議案 1、2 に準拠して「中央ろうきん友の会会則」を一部改正し、2015 年 7 月 1 日より施行します。

本ニュースに関するお問い合わせについては、右記にある中央ろうきん友の会事務局までお問い合わせください。なお、ニュースは、会員向けのニュースとなっておりますので、地区本部や支部の会議やイベント時にご活用ください。

中央ろうきん友の会ニュース

編 集】中央ろうきん友の会事務局  
発行人】鈴木政雄  
問合先】三鷹市下連雀4-15-30  
TEL 0422-79-0220